

岡山県税制懇話会報告書骨子（案）

凡例

- ◎：記述の方向性
- ：第1回会議での意見
- ・：記載項目

【本編】

1 産業廃棄物処理税導入の効果

(1) 産業廃棄物の状況

- ◎ 第1回会議で報告した状況を記述する。
 - ・ 排出量及び処理の状況
 - ・ 最終処分量の推移
 - ・ 広域移動の状況
 - ・ 不法投棄の状況
 - ・ 今後の発生及び処理の見込み

(2) 税収と充当事業費の推移

- ◎ 第1回会議で報告した状況を記述する。
 - ・ 税収の推移
 - ・ 賦課
 - ・ 徴収状況

(3) 使途事業の実績と主な成果

- ◎ 第1回会議で報告した状況を記述する。
 - ・ 産業活動の支援
 - ・ 適正処理の推進
 - ・ 意識の改革

2 産業廃棄物処理税の継続の必要性

(1) 必要性

- ◎ 第1回会議の議論を踏まえ、継続は必要との方向で記述する。
 - 産業廃棄物処理税は、環境負荷に対する対価の意味を持ち、税収は環境保全に使われているため、社会にとっては必要な税である。
 - 税負担は、排出事業者側の製造工程・技術の改善などのモチベーションにつながっている。

(2) 税制度

- ◎ 第1回会議の議論を踏まえ、現行制度を維持する方向で記述する。
 - 制度は、シンプルで分かりやすいものであり、現状のままでよい。
 - 中国地方が一律同じ税額であることに意味がある。
 - ・ 税率
 - ・ 課税方式

3 今後の方向性

(1) 使途事業

- ◎ 第2回会議の議論を踏まえて記述する。
 - より効果的な事業の推進についての議論が必要である。

(2) 基金

- ◎ 第2回会議の議論を踏まえて記述する。

(3) 産業廃棄物処理税の見直し時期

- ◎ 現行制度において重大な問題等が生じていないこと等を勘案し、従来どおり今回の見直し後5年を目途とする旨を記述する。

【資料編】

- 岡山県税制懇話会設置要綱
- 岡山県税制懇話会委員名簿
- 岡山県税制懇話会審議経過
 - ・開催日
 - ・主な議題
- 産業廃棄物処理税の使途事業
 - ・使途事業の一覧（事業名、充当方針の種類、担当課、事業概要、決算額推移）
- 都道府県における産業廃棄物処理税導入状況
 - ・他県の導入状況